

第3回 立命館大学薬学部 薬剤師生涯学習セミナー

謹啓

時下 先生方におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素より本学の薬学教育にご理解ご協力賜り、厚くお礼申し上げます。

このたび立命館大学薬学部にて、第3回薬剤師生涯学習セミナーを下記の通り開催する運びとなりました。つきましては、ご多忙中とは存じますが、万障お繰り合わせの上、ご出席賜りますようお願い申し上げます。

謹白

記

日時：2016年9月24日（土） 15:00～17:10

会場：立命館大学びわこ・くさつキャンパス（滋賀県草津市野路東 1-1-1）
コーニングハウスⅠ 1階 C109

対象：薬剤師、その他医療関係者

参加費：無料

■ 15:00～16:00

『薬剤師と地域連携～三方良しの理念が教えてくれること～』

滋賀医科大学教授 医学部附属病院薬剤部部長 寺田 智祐 氏
～休憩（16:00～16:10）～

■ 16:10～17:10

『地域包括ケアにおける薬局・薬剤師の役割』

ファルメディコ株式会社 代表取締役社長 狭間 研至 氏

本研修会は、日病薬病院薬学認定薬剤師制度の研修カリキュラム（Ⅲ-2連携（多職種・薬薬）1単位）並びに日本薬剤師研修センター単位（参加者1単位）の認定対象となっています。※どちらか一方を取得出来ます。受付時に選択してください。

【お問い合わせ先】

立命館大学 薬学部事務室

（担当者：藤井、高見澤）

電話：077-561-2563

主催：立命館大学薬学部

共催：（一社）滋賀県病院薬剤師会・（一社）滋賀県薬剤師会

■ 15:00～16:00

『薬剤師と地域連携～三方良しの理念が教えてくれること～』

講師：寺田 智祐（滋賀医科大学医学部附属病院薬剤部）

（講演要旨）

滋賀県の方であれば、「三方よし」という言葉をご存知の方も多いと思います。近江商人の教えの一つで、「売り手よし、買い手よし、世間よし」をまとめた言葉です。医療に当てはめると、「売り手」は医療者、「買い手」は患者さん、「世間」は社会、ということでしょうか。薬剤師の業務は広がりと深さを持って進化してきましたが、「三方よし」の教えは大事な視点を示唆してくれています。つまり、近江商人の心意気を見習えば、患者さん、そして社会の視点を持って、日々の医療に携わる重要性です。決して自己都合で考えるのではなく、「本当に患者さんのためになるのか?」、「その判断は社会にとって有益か?」という公益性の視点です。講演では、このような理念で進めてきた、滋賀県における地域連携の取組みについて紹介する予定です。

（プロフィール）

福井県生まれ

平成 6 年京都大学薬学部卒業、平成 11 年同大学院薬学研究科博士課程修了、日本学術振興会特別研究員を経て、平成 12 年京大病院薬剤部・助手。平成 14 年マサチューセッツ総合病院・研究員、平成 15 年京大病院薬剤部・助手、平成 20 年同副薬剤部長、平成 22 年滋賀医大病院薬剤部 教授・薬剤部長になり現在に至る。平成 24 年滋賀県病院薬剤師会・会長。

受賞歴：平成 12 年日本膜学会研究奨励賞、平成 19 年日本薬学会奨励賞、平成 22 年日本薬物動態学会奨励賞、平成 28 年日本薬学会佐藤記念国内賞

■ 16:10～17:10

『地域包括ケアにおける薬局・薬剤師の役割』

講師：狭間 研至（ファルコメディコ株式会社）

（講演要旨）

従来もそうであったが、地域包括ケアにおいては医療の「ことがら」のほとんどは薬物治療が占める。認知機能や嚥下機能の低下は、様々な服薬支援を必要とするし、肝機能・腎機能の低下は処方内容の個別最適化を必要とするはずだ。

このように複雑化する薬物治療支援のニーズが飛躍的に拡大するなかで、それを支える医師や看護師数は増大しないのが我が国である。医療ニーズと医療提供体制のミスマッチを解決するために多職種連携は必須であるが、特に医療ニーズの多くが薬物治療の個別最適化であることを考えれば、薬剤師が果たす役割は、入院、外来、在宅に関わらずきわめて重要になるはずである。

とはいえ従来通りの処方箋調剤業務を機械的にこなす「モノ」と「情報」の専門家としての薬剤師であるならば、物流システムの改善や調剤業務の機械化、そしてインターネットの発達によってその存在価値は相対的に低下している。

しかし、薬剤師が、薬を患者さんに渡すまでの仕事から、薬を服用した後の患者さんをチェックすることで前回処方の妥当性を薬学的に評価し、次回の処方内容の適正化につなげるという医師との協働した薬物治療を行う仕事にシフトすることの意義はきわめて大きいと考えられる。

本講演では、このような観点から、医師・薬局経営者として、変わりつつある我が国の医療提供体制において重要だと考えるにいたった、地域医療インフラとしての薬局や薬剤師の役割について皆様と一緒に考えてみたい。

（プロフィール）

昭和44年 大阪生まれ

ファルコメディコ株式会社 代表取締役社長、
医療法人嘉健会 思温病院 院長、

一般社団法人 日本在宅薬学会 理事長
熊本大学薬学部・熊本大学大学院薬学教育部 臨床教授

平成7年 大阪大学医学部卒業後、大阪大学医学部付属病院、大阪府立病院（現 大阪府立急性期・総合医療センター）、宝塚市立病院で外科・呼吸器外科診療に従事。

平成12年 大阪大学大学院医学系研究科臓器制御外科にて異種移植をテーマとした研究および臨床業務に携わる。

平成16年 同修了後、現職。医師、医学博士。

現在は、地域医療の現場で医師として診療も行うとともに、一般社団法人 薬剤師あゆみの会、一般社団法人 日本在宅薬学会の理事長として薬剤師生涯教育に、近畿大学薬学部、兵庫医療大学薬学部、愛知学院大学薬学部の非常勤講師として薬学教育にも携わっている。

●セミナー会場のご案内●

【場 所】立命館大学びわこ・くさつキャンパス コラーニングハウス I 1階 C109

(滋賀県草津市野路東 1-1-1)

※セミナー当日は公共の交通機関をご利用ください。車での来場はご遠慮ください。



———▶ 徒歩ルート

バスターミナル